

随想

〈第三十七回〉

日本の美と心を伝える 「青葉能」

市長 米本 弥一郎



千葉市にある青葉の森公園芸術文化ホールに設置された、県内唯一の組み立て式能舞台での「青葉能」を鑑賞しました。子どもから大人まで、みんなで能舞台を楽しもうという催しで、今年で44回目を迎えます。

鑑賞は昨年に続き2回目です。初めてだった昨年は、事前にパンフレットやテレビ中継で一通り勉強しましたが、よく理解できず「チケットを買って失敗だったかな」と思いながら会場へ。しかし結果は「大正解」。生で見る舞台の迫力に魅了され、今年のチケットを早々に購入するほどの大ファンになりました。

今回は、狂言「萩大名」、舞囃子「松風」、能「清経」の3つの演目が披露され、人間国宝の山本東次郎さんや友枝昭世さんなど、日本を代表する能楽師が出演しました。

開演すると、最初に能や狂言の解

説が始まります。奈良時代に中国から伝来した「散楽」がルーツであることや、シリアスとコミカルな演目があり、人の表と裏を表現していることなど、丁寧な説明がありました。

舞台上では、能面を付けた演者が、首の角度を変えるだけで表情の変化を感じさせたり、演奏する囃子方がかけ声とともに顔を紅潮させたりする姿や、8人の地謡が目を閉じて集中し、謡の音を互いに合わせる様子などが見られました。600年以上続く伝統を肌で感じ、歴史の教科書で学んだ観阿弥・世阿弥の世界に触れることができた気がします。

「日本の伝統芸能を次世代へ伝えたい」という思いが伝わってくるとともに、日本人の根っこにある大切なものを感じられる良い機会となりました。皆さまにも、ぜひ一度体験していただけたらと思います。

図書館へ行こう

開館時間／火～金曜日：午前9時～午後7時

土・日曜日、祝・休日：午前9時～午後5時

今月の休館日／3日(月)、10日(月)、12日(水)～21日(金)、25日(火)

岡市図書館 ☎62-2560 <https://www.library-asahi-chiba.jp/>

おはなしの時間

幼児向けの絵本の読み聞かせ

日時／1日(土) 午前10時30分～11時

場所／県立東部図書館3階 研修室

今月のおすすめ



「翳りゆく午後」

伊岡瞬 著 (集英社)

敏明の父は80歳目前。市民講座の講師を務める名士だが、最近、怪しい言動や行動が目立つようになる。近隣で起きた交通事故に関係がないかと調査すると…。



「普通の子」

朝比奈あすか 著 (KADOKAWA)

息子が小学校のベランダから転落して骨折した。いじめの体験を持つ母親は、口を閉ざす息子や学校の対応に、いじめを受けていたのではと不審を抱き真相を探る。

新着図書

- おすすめ！子どもの本 (日本国際児童図書評議会)
- 一冊でわかるイラン史 (関真興)
- 文藝春秋オピニオン2025年の論点100 (文藝春秋)
- ルポ 京アニ放火殺人事件 (朝日新聞取材班)
- 日本の肉じゃが世界の肉じゃが (阿古真理)
- 動物園・水族館の子づくり大作戦 (成島悦雄)
- 身近すぎて気づかない、偉大な発明図鑑 (クライブ・ギフォード)
- 日本ご当地おかず大全 (菅原佳己)
- 山岳セルフレスキュー教本 (笹倉孝昭)
- 人魚が逃げた (青山美智子)
- マンガラチャート (垣谷美雨)
- 書楼弔堂 霜夜 (京極夏彦)
- 秋葉断層 (佐々木譲)
- バイト・クラブ (小路幸也)
- 綱を引く (堂場瞬一)
- ドヴォルザークに染まるころ (町田そのこ)
- ゆびさきに魔法 (三浦しをん)
- 暗号の子 (宮内悠介)
- いつかの朔日 (村木嵐)